



NC操作付き自動プラズマ加工機

設備投資のみ

マサステンレス工業株式会社 NC操作付き自動プラズマ加工機搭載 による製造技術開発と商品化

設備導入で作業時間の短縮が図れ、設計図のデータ保存で多品種少量生産への対応が可能になった。

〈 事業のきっかけ 〉 OPPORTUNITY

当社は平成元年に北谷町吉原にて北谷厨房設備として創業。その後、有限会社北谷厨房設備となり、平成8年に沖縄市知花に工場・事務所を移転。平成23年にマサステンレス工業株式会社に社名を変更した。当初は社名が示すように厨房の作業台やシンク、フードなど主に飲食店やリゾートホテル等の厨房設備の製造および設計・施工を行ってきた。近年では工業用ステンレスタンク、サニタリープラント、建築関連のステンレス製品等の需要増加に伴い製品の多様化が進み、従来の手作業を中心とした製造方法では品質や納期面で十分な対応が図れず、外部に委託することも多くなっていた。そのため、作業の効率化と品質向上のため、ものづくり補助事業を活用し設備の導入を図ることになった。

〈 事業の取り組み 〉 PROGRESS

当社が導入した「NC操作付き自動プラズマ加工機」のNCとは《Numerical Control》の頭文字で工作機械に指令を与える数値制御装置のことである。パソコン画面上で加工したい設計情報を入力すれば、その情報がケーブルを伝わって工場内のプラズマ加工機に届き、操作盤で加工機を始動させることにより、自動的に穴あけや断裁ができるようになっていく。当社ではダクト製作と特殊タンク製作について設備導入を進めたところ、従来の手作業と比較し、大幅に時間を短縮することができ製品も高品質に仕上げるできるようになった。当社は受注生産により顧客のニーズや製品の設置場所に合わせて設計から加工までを行っており、ステンレスは耐久性に優れた合金であることから医療関係、公共施設、食品加工、建築関連等、そのニーズは多分野におよび、設備をフルに活用した製品づくりに取り組んでいる。

COMPANY MIND

熱血起業人

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

顧客に喜ばれる製品づくりに努めていきたい

当社は「“あったらいいな”をカタチに!」を創業からのモットーに、顧客との共同設計・開発を行っている。「NC操作付き自動プラズマ加工機」の導入により製品製造の幅が広がったが、設備機器は時代とともに進化を遂げ、顧客のニーズも時代とともに変化を遂げて行くものである。これからも「あったらいいな」を第一に設備機器の充実に努め、技術の向上を図り顧客に喜ばれるオーダーメイドの製品づくりに努めていきたい。

マサステンレス工業株式会社
代表取締役 名嘉 幸政



パソコンで情報を入力



食品工場向けタンク加工



工場風景

〈 事業の成果 〉 ACHIEVEMENT

【短納期化】「NC操作付き自動プラズマ加工機」の導入により、これまでステンレス板に直接手書きで行っていた穴あけや採寸の指示がパソコン内のCADデータで可能となり、作業時間を約20%短縮できることになり作業員の負担が少なくなった。また、CADデータは蓄積することができ、類似製品の製造についてはそのデータを活用することができ、設計に要する時間の短縮が図れるようになった。

【多品種少量生産】NCデータの保存が可能なことから、類似製品の注文があった場合はそのデータを活用することで作図の時間が削減でき、プラズマ加工機によるカット作業が迅速にできるようになった。CADデータ、NCデータの保存により多品種少量生産を効率よくできるようになり、データを活用した製品の提案はもちろん加工技術の向上にも役立っている。

COMPANY OVERVIEW

代表者名	代表取締役 名嘉 幸政
設立年	平成元年
所在地	本社 〒904-2143 沖縄県沖縄市知花5-36-23
T E L	本社 098-939-9011
F A X	本社 098-939-9010 工場 098-989-0513
ホームページ	
資本金	300万円
従業員数	6人
業種	製造業

